

熊取町議会委員会会議録

都市計画道路建設促進特別委員会

令和4年6月16日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[都市計画道路建設促進特別委員会]
都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について …………… 1

都市計画道路建設促進特別委員会

月 日 令和4年6月16日（木曜）招集

場 所 熊取町役場議場

出席委員	委員長	坂上昌史	副委員長	坂上巳生男
	委員	田中豊一	委員	文野慎治
	委員	田中圭介	委員	矢野正憲
	委員	渡辺豊子	議長	二見裕子

欠席委員 なし

説明員	町長	藤原敏司	副町長	南和仁
	総合政策部長	東野秀毅	総務部長	藤原伸彦
	都市整備部長	田中耕二	都市整備部理事	濱田隆之
	都市整備部理事	白川文昭	まちづくり 計画課長	馬場高章
	道路公園課長	山原栄次	道路公園課参事	宮内要重男
事務局	議会事務局長	林利秀	書記	道端秀明

案 件

- 1) 都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について

委員長（坂上昌史君）皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから都市計画道路建設促進特別委員会を開会いたします。

（「15時30分」開会）

委員長（坂上昌史君）なお、発言される方は、挙手の上、着座で、マスクはつけたまま発言していただきますようお願いいたします。

また、本日の会議では、新型コロナウイルス感染症への対策として、換気のため一部の窓を開けておりますので、ご了承をお願いします。

本日の案件は、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての1件であります。

それでは、案件1、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての件を説明願います。山原道路公園課長。

道路公園課長（山原栄次君）それでは、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況について説明させていただきます。

資料の1ページをお開きください。

1つ目、大阪岸和田南海線の状況でございますが、まず、泉佐野市界から府道泉佐野打田線の第1期事業区間約850メートルについて説明いたします。委員の皆様におきましては、3ページ目の事業進捗図をご覧ください。なお、令和2年度以前の内容につきましては、昨年3月の特別委員会でご報告させていただいておりますので、それ以降の分について説明させていただきます。

令和3年度は、青葉台地区の用地測量、岸和田南海線南側の道路整備工事、電線共同溝詳細設計

を実施したところでございます。

令和4年度についても、引き続き、電線共同溝整備工事、青葉台地区ほかの物件調査16件を行っていく予定となっております。

事業用地の取得につきましては、今年度、物件調査を実施する16者が未買収の状況となっております。

続きまして、府道泉佐野打田線から国道170号大阪外環状線の第2期事業区間約600メートルについて説明いたします。

令和3年度は、府道泉佐野打田線交差点部、大阪外環状線交差点部の用地測量、物件調査、用地買収等を実施したところでございます。

令和4年度には、住吉川左岸の橋梁下部工事、電線共同溝詳細設計、物件調査、用地買収を行っていく予定となっております。

事業用地の取得の状況ですが、47者中12者より、事業用地が取得済みとなっております。

続きまして、泉州山手線の状況ですが、4ページの事業進捗図をご覧ください。

1つ目、貝塚市域において、令和3年度から名越工区の物件調査、令和3年11月に名越工区に係る地元説明会を実施、令和4年度は名越工区の用地買収を実施予定となっております。

次に、本町の整備促進支援の状況ですが、本町としては、府における事業着手が速やかに行えるよう、令和2年度から3か年の予定で、七山北地区の地籍調査業務を貝塚市と共同で実施しておりまして、令和3年度は用地測量、現地境界立会いを実施いたしました。令和4年度は、地籍図及び地籍簿の作成を行った後、地権者に閲覧いただき、業務が完了する予定です。

今後も、事業主体である大阪府に対して早期に事業着手いただけるよう、要望活動を続けてまいります。

説明は以上です。

委員長（坂上昌史君）以上で説明終わります。

それでは質疑を行います。質疑はありませんか。よろしいですか。田中圭介委員。

委員（田中圭介君）これ用地買収済みが12者ということで、今その残りのところも全部府のほうが、岸和田土木ですか、のほうが交渉に行っているという最中ですかね。

委員長（坂上昌史君）山原道路公園課長。

道路公園課長（山原栄次君）全てではないですけれども、条件が整ったところから交渉に入らせていただいています、物件調査等も並行して行っているというふうに聞いてございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）田中圭介委員。

委員（田中圭介君）これの図を見ますと、万代の駐車場のど真ん中に行くような形の道路になるかと思われませんが、この万代の駐車場というのはどういうふうな形にこの後になるというような感じですかね。

委員長（坂上昌史君）山原道路公園課長。

道路公園課長（山原栄次君）そのあたりはまだ大阪府のほうが、万代というか所有者の方と交渉に入る前段というふうに聞いております。今後、その形態等についても交渉の中で進めていくものというふうに理解してございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）よろしいですか。田中豊一委員。

委員（田中豊一君）第1期区間、青葉台と大久保4区の辺りの未買収地なんですけれども、これはもう丈量図の策定は終わっていて、今価格交渉とか物件交渉とか、そういう状況なんですか。

委員長（坂上昌史君）宮内道路公園課参事。

道路公園課参事（宮内要重男君）一部のところにつきまして、今現在、境界確定の押印作業に入っているとありますので、ちょっと丈量図が全て完了しているかまで確認できていませんが、今そ

ういう状況と聞いています。境界自体はご理解いただいて、あと判こだけ押してもらおうのがちょっと残っている状況と伺っています。

以上です。

委員長（坂上昌史君）田中豊一委員。

委員（田中豊一君）2期区間というのは、今、田中圭介委員のほうからいろいろ質問がありまして、話のできたところから物件の調査とか用地買収にかかるということで、進んでいる部分もあると思うんですけども、1期のところはもう周りがほとんど完成している中で、やっぱり残っているところについては早期に解決していただいて、計画幅員ですか、工事をしていただくというのが筋やと思うんですけども、そのあたりの近々の予定というか、それはどういう予定になっていますか。

委員長（坂上昌史君）山原道路公園課長。

道路公園課長（山原栄次君）3ページの図面でいきますと、凡例のところでは水色で着色しています、未買収地16者というふうに記載させていただいています。先ほど説明させていただいたように、今年度、一応16者の方の物件調査を予定しているというふうに大阪府から報告を受けてございますので、今のところ残りの地権者の全ての物件調査を今年度行う予定というふうに聞いてございます。

ですので、一応物件調査をさせていただいて、価格提示までいって、了承いただければ買収に応じていただけるのではないかとというふうに考えてございます。ただ、そこは交渉になりますので、今すぐ例えば今年度中に買えますとかということとはちょっと明言できませんが、大阪府としては、残りの地権者全ての方に当たっていくというふうには報告は受けてございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）田中豊一委員。

委員（田中豊一君）ありがとうございます。頑張ってください、町のほうも地元としてフォローできることがあったらお願いしたいと思います。

それと、先ほど質問のあった2期区間ですけれども、昨年度末では大体用地買収が二十数%と聞いているんですけども、先ほど田中圭介委員から万代の駐車場の問題とか話ありましたですけれども、フレンド幼稚園の計画区間に入っているところについては、状況どんなんですか。

委員長（坂上昌史君）宮内道路公園課参事。

道路公園課参事（宮内要重男君）岸和田土木事務所から伺っているのは、府道泉佐野打田線から雨山川の間のフレンド幼稚園のあるところの区間ですけれども、用地測量等を行いまして境界立会い等も行っているんですけども、ちょっとまだ境界の立会いが完了しないということで、今、境界確定に向けた作業を行っている途中ということで伺っています。

委員長（坂上昌史君）ほかに質疑ありませんか。田中圭介委員。

委員（田中圭介君）すみません、もう一点だけ聞きたいんですけど、桜が丘のほうから下りてくる道が新しくできると伺っているんですけど、それは熊取町がするんですかね、府がするんですかね。

委員長（坂上昌史君）山原道路公園課長。

道路公園課長（山原栄次君）委員がご指摘のように、桜が丘地区から下りてくる、ちょうどマクドナルドのある交差点に下りてくる町道というのは、新しく岸和田南海線が外環にタッチする交差点に向けて、ちょっとひねるような形で形状のほうを変更していくというふうに大阪府のほうからは聞いてございます。ただ、その事業については、この大阪府の関連ということで、大阪府のほうで実施していただく予定になってございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）田中圭介委員。

委員（田中圭介君）そしたら、この地図にも、あらかたどういうふうな感じで道が来るかというのは載せることはできないですか。

委員長（坂上昌史君）山原道路公園課長。

道路公園課長（山原栄次君）まだ形態等は確定してございませんので、ちょっとここに記載させていた

だくのはできないというか、決まりましたら載せることは可能かと思えますけれども、まだ今近々で境界の立会いとかを行っているところでございますので、形態等もまだこれから確定させていくというふうに聞いてございます。

委員長（坂上昌史君）ほかに質疑ありませんか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）すみません、今の説明をちょっと初めて聞いたもので、府のほうで計画されているということでしたよね。この岸南線と併せてですか。それで、一応この交差点整備としてはどんな形、だから普通、今でしたらどん突きの、ちゃんとした交差点にならない形態になるわけでしょう。新しくそうやって桜が丘のほうからの外環に出る道を計画しているのであれば、この岸南線と併せて交通形態、交通の流れのいいように計画されているのか、ちょっとその辺のところ、計画について全然私たち今初めて聞かせていただいたんですけども、その辺の説明というのはどうなんですか。

委員長（坂上昌史君）白川都市整備部理事。

都市整備部理事（白川文昭君）こちらに記載させていただいている岸南線につきましては、これ都市計画決定を打たれた道路です。こちらの今、町道桜が丘1号線との接続、これは交差点協議という中で十字交差、この絵の状態でも町道桜が丘1号線を現状のまま残せば、桜が丘から出られる車というのが貝塚方面、中央分離帯で仕切られますので貝塚方面にしか出れないという状況となります。そんな中、警察協議をしていく中で十字交差とすべく町道桜が丘1号線を岸南線のほうに当てて十字交差にしていくという事業になります。

こちらの町道桜が丘1号線の工事については、先ほど課長が説明させていただいたように、今こちらの絵には載せられない。なぜなら、道路事業として、任意事業として交渉しながら進めていく事業ですので、まだ確定したものではないので、図面には表示できないと。今はまだ協議途中のそういう構想で、十字交差にしていこうという形で交渉に今当たっているというところでご理解いただけたらと思います。

委員長（坂上昌史君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。そういう交渉があるというところをもっと私たち議員、この岸南線とは別の道路になるかということですが、十字交差という形で交通上支障のないように検討されているというのがあるんでしたら、やっぱりここでは、岸南線とは別かもしれないですが、こういう構想は今計画しているという説明が町のほうからあってもいいのではないかなというふうに思ったので、ちょっと意見言わせてもらいました。

この絵だけしか私たち分からないので、そういう計画があるというのは、住んでる、今、田中委員は知ってはったんですが、周辺の方はそういう情報が知り得たかもしれませんが、町全体として、私たち議員として、交通安全面でそういうことも計画の中ではあるというのは、やっぱりちょっと行政のほうから説明があったほうが、私たちとすれば住民にも説明はできるかなというふうに思いますので、まだ確定していないのであるということですが、そういう構想があるのならば説明もやっぱりしていただきたいなというふうに意見として思い、言わせていただきます。

委員長（坂上昌史君）ほかに質疑ありませんか。坂上巳生男副委員長。

委員（坂上巳生男君）ただいまの説明の資料の中に、電線共同溝整備工事というのがあるんですが、この点について少し詳しく説明いただけますか。

委員長（坂上昌史君）白川都市整備部理事。

都市整備部理事（白川文昭君）今現在、大阪府のほうでは、広域幹線道路については電柱をなくしていくという事業が進められております。こちらの岸南線につきましてもその該当路線ということで、無電柱化をするがために、この今の路線については電線共同溝として、無電柱化のための事業路線となっているというところがございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）坂上巳生男副委員長。

委員（坂上巳生男君）分かりました。電柱をなくして地中化するということがいいことかと思えますけれども、そのことで道路整備工事というのは一定何か大がかりになるとか、工事にすごく時間がかかるとか、そういうことはないのでしょうか。

委員長（坂上昌史君）白川都市整備部理事。

都市整備部理事（白川文昭君）一定事業費のほうも大きくなりますし、時間も一定かかるんですが、この無電柱化、共同溝事業というのが出てから去年3月の中期計画で大阪府のほう、令和12年概成と、4車線化という形で公表されておりますので、完成年度については令和12年度までに4車線化でおおむね完成させていただけるものというふうに考えてございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）坂上巳生男副委員長。

委員（坂上巳生男君）以前、ほかの議員の一般質問でしたか、そういう電柱の地中化とか、そういうことも質問の項目の中に上がっていたような気もしますが、また一般の住民の方からも、狭い道路に電柱が立ってるのはどうも具合悪いと。都市計画道路のみならず一般の道路でも、電柱の地中化を要望する声もあるんですが、こういう大きな都市計画道路の整備の際に、その工事に併せて電線の共同溝を整備していくと、それはそれでいいかと思うんですが、その他の道路の電柱については、今のところ計画は全くないということでしょうか。

委員長（坂上昌史君）山原道路公園課長。

道路公園課長（山原栄次君）大阪府のほうでは、今理事から説明させていただいたように、計画のある路線というのは、整備の際に電線共同溝を進めているということになってございます。町の事業としましては、今、駅西のほうで整備させていただいている、熊取町は交通広場だけになりますが、泉佐野市の整備した区間というの、もう電線共同溝の整備というのはさせていただいてございますので、そこの一連で、駅前の交通広場については地中化させていただく予定で、事業のほうを進めております。

ただ、その他、町の今計画では、電線共同溝の予定というのはございません。

以上です。

委員長（坂上昌史君）ほかに質疑ありませんか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）すみません。今回のこの岸南線と泉州山手線に係る要望として、外環の4車線化についてちょっと聞きたいんですが、この計画の中ではこの岸南線については一応令和12年にはちゃんと外環につなぐんだというふうな設定になっておりますが、この外環の4車線化はそしたらいつになるというふうに計画されているんですか。

委員長（坂上昌史君）白川都市整備部理事。

都市整備部理事（白川文昭君）外環の4車線化につきましても、大阪府の都市整備中期計画、昨年3月に出された資料の中で述べられておまして、熊取町の中での国道170号、大阪外環状線については、事業内容としては機能強化、4車線化のことで、それについては、事業状況としまして、令和3年から令和12年度までで条件付着手という言葉で触れられております。

以上です。

委員長（坂上昌史君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）分かりました。令和3年から12年度までに、条件的に着手するというふうに、ということですね。

委員長（坂上昌史君）よろしいですか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）はい。

委員長（坂上昌史君）ほかに質疑ありませんか。文野委員。

委員（文野慎治君）今の質問のちょっと関連なんですけれども、条件付着手というその条件というのは、以前ちょっと一般質問でさせてもらったときもそういう言葉が出たんですけれども、その条件というのはどういうことを指しているのか教えてもらえますか。

委員長（坂上昌史君）白川都市整備部理事。

都市整備部理事（白川文昭君）言葉ではこういう条件付ということなんですけれども、口頭で伺っているところでは、大阪外環状線の4車化をするためには、岸南線の開通というのが条件となっております。岸南線のほうに車を流さなければ4車線化ができないという状況ですので、この条件つきといいますのが岸南線の開通ということです。

以上です。

委員長（坂上昌史君）田中都市整備部長。

都市整備部長（田中耕二君）少し補足ではないんですけれども、理事が申し上げたとおりですけれども、岸南線、まずボトルネックになっている部分の出口をまず接続して逃がすようにしましょうと。それを条件という言葉はあれですけれども、それに併せて4車線化をしましょうというようなところがあって、イメージとしてはやっぱり同時進行であるだろうというようなニュアンスは伝わってきます。

我々のほうとしても、当然ながら岸南線の早期、12年度概成だけでも、できるだけ可能な限り早期に、これは用地の状況にももちろんよってくるということがございますが、可能な限り早期にやってほしいと。これの供用開始と同時で4車線をやってほしいという要望を強く我々もしているところで、そのニュアンスは一定大阪府にも伝わっておるといような状況だと感じております。

ですので、イメージとしてはそんなイメージを持っていただいたほうがいいのかなというところがございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）濱田都市整備部理事。

都市整備部理事（濱田隆之君）ちょっと補足といいますか、外環の4車線化も、貝塚市域まで区間が長いものですから、要はどここの区間を4車線化するのが順番でいいのかと、議会のほうから要望では泉山までというような形の要望も以前出していただいているとお聞きしていますので、その辺の事業区間、岸南線の事業めどが立った段階で、どういう区間をまず優先的にやっていくか、その辺の議論を一緒に進めていって、外環の4車化を実現化していくと。そういう議論をしていきたいというふうに考えているところでございます。

委員長（坂上昌史君）文野委員。

委員（文野慎治君）何度も要望しているんですけど、こういう委員会の場もお借りしてですけれども、当初やはり岸南線のまだ計画があるぐらいの段階以前からと僕は思うんですけど、やはり渋滞があるんですよね。だから、そのときからもうずっと、時の府会議員、時の町長、そういう人の公約の中には外環の4車線化というのは必ず出ていたわけなんです。ですから、やっぱり熊取町の岸南線の完成というのは、もうもちろん今ご答弁いただいたように、それまでに前倒し前倒しということになるようにやってほしいし、それと、部長のほうでも補足で言っていたように、計画に合わせて、やはり時間がかかる部分があるから、そういう目に見えるような形で、町も府とのタッグで早くこうやって動いているなというような形を見せられる知恵を絞ってほしい。

岸南線が開通のめどが12年やから、そのときにはできるんやと思うけれども、それではやはり今までの期待、コロナ前の、今ちょうどコロナがちょっと収束したから、今日曜ごとで町長のタウンミーティングがスタートしていると思うけれども、そのストップする前のタウンミーティングのときのやっぱり一つのテーマが、4車線化が泉州山手線の計画も含めて、そのとき聞いた住民の方は、ああ、これでちょっともう先めど立ったよなというような感じで、やはりあのときは一つのテーマとして、町長側としてもいい報告という形で持っていった中身やったんですよね。

だから、そういうことも踏まえて、その後の経過は僕らは情報をいただいているから分かるけれども、ぜひ今ご答弁やっていたような形を大阪府にももっともっと強く言っていて、できるところから早く工事を始める、見せる、そういうふうなことを努力していただけたらと思

います。これは要望です。よろしくお願ひします。

委員長（坂上昌史君）ほかに質疑ありませんか。矢野委員。

委員（矢野正憲君）住吉川の煉瓦館でしたか、地下にいろいろと洪水にならんような形でいうふうな話があつて、田中理事から以前説明をいただいたんですけども、公園機能を使えなくなるから、大久保の中にあるこの道路用地の買収地のところを公園にというふうなお話がありましたけれども、全然今回のやつは道路ですけれども、少し関係しているのかなと思つて、河川の工事が遅れることによつて、この岸南線の2期工事が遅れるというような可能性というのはどうなんですかね。

委員長（坂上昌史君）濱田都市整備部理事。

都市整備部理事（濱田隆之君）住吉川の調整池の工事の代替の公園という形で、一応今の現時点では岸南の先行買収地を候補地という形で選定させていただいています。ただ、岸南線のあくまで道路事業が優先でございますので、岸南線の道路事業を優先しながら、その時点でどういう形での代替公園、ほかにも候補地をいろいろ町と一緒に探しながら検討しているということで、住吉川については一応おおむね5年間程度ということで聞いておりますけれども、調整池の事業は事業として進んでいただいて、あくまで岸南線は岸南線の事業として優先と。あと、その間の代替公園はどのような形でやっていくのがベストかというのは、その時点時点でまた判断で検討していきたいというふうに考えているというふうに聞いております。

委員長（坂上昌史君）田中都市整備部長。

都市整備部長（田中耕二君）同じことの繰り返しになつて申し訳ないんですけども、フレーズで出ておりましたが、調整池は調整池として当然必要、河川もそれは河川事業として当然災害対策の関連もあつて必要なんですが、それであつたとしても、決してこの岸南の事業はこれに引きずられて遅れることは絶対ないだろうと。これは大優先で進める事業であるという認識で我々も大阪府にお願いしておりますし、大阪府もそういう認識をさせていただいているというところでございます。

以上です。

委員長（坂上昌史君）矢野委員。

委員（矢野正憲君）河川が5年間、この岸南線が8年間、令和12年まででというふうなことだから、3年間の時間の差があるというふうな形で、その辺の遅れるような心配はありませんよというふうな、そういうような理解で今のところは進んでいるというようなことですね。はい、分かりました。了解ですよ。

委員長（坂上昌史君）ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

以上で質疑を終わります。

これをもつて、案件1、都市計画道路「大阪岸和田南海線」「泉州山手線」の状況についての件を終了します。

以上で、本日の案件は終了いたしました。

委員長（坂上昌史君）その他、何かご報告があれば承ります。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で都市計画道路建設促進特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

（「16時00分」閉会）

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

都市計画道路建設促進特別委員会委員長

坂上昌史